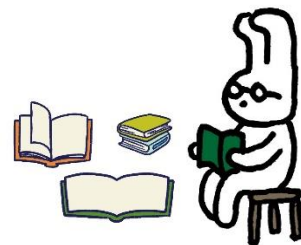


北豊島工科高校 図書館だより



中間考査も終わり、ようやく秋が訪れました。秋の楽しみ・11月の文化祭に向けての準備も始まります。図書館にも秋を楽しむための本がたくさんあります。今月の図書館前廊下展示ケースの特集は、「秋を愉しむ」。図書館に足を運んで色々な秋を探してみてください。

(北豊島工科高校図書館 高木 千里)

特集展示 「秋を愉しむ」



「この一行に逢いにきた」

10月27日～11月9日は読書週間です。

秋といえば皆さんは何を思い浮かべますか？食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、そして読書の秋。秋は暑くも寒くもなく、何をするにも良い季節です。家の中でゆっくり読書を楽しんだり、少し身体を動かすために外に出たりするのも良いですね。今回はそんな「秋を愉しむ」ための本を紹介します。本を開けば、そこには新しい世界が待っています。

読書日和の秋の日に、ぜひ図書館に足を運んでみてください。

特集展示からの おすすめ本



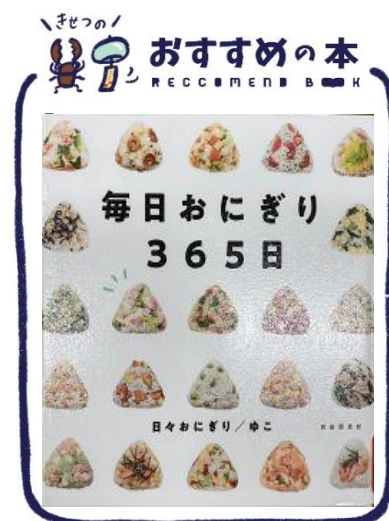
「野球が好きすぎて」

実業之日本社 東川篤哉 著
913.6 ヒ



「美術館って、おもしろい！」

河出書房新社 モラヴィア美術館 著
706.9 モ



「毎日おにぎり 365日」

自由国民社 日々おにぎりゆこ 著
596.3 ヒ

「見つける東京」

岡部 敬史 文 // 東京書籍 // 291.3 オ

「地方から来て東京で暮らし始めた人に向けた東京の本」。この東京には、魅力的な場所や風景がたくさんあります。写真でその素晴らしさがわかる 1 冊です。



「故事成語ツッコミ辞典」

寺田 寛明 作 // 講談社 // E726 テ

故事成語とは、昔から伝わる物語（故事）からうまれた、教訓を含む短い言葉のことです。「ほそ（おへそのこと）をかむ」では、「おへそ、かみたくてもかめません」といったツッコミが。笑えます。



「それは誠」

乗代 雄介 著 // 文藝春秋 // 913.6 ノ

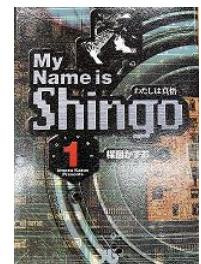
高2の修学旅行。自由行動の一日。日記のように語られる小説です。グループのメンバーはみな個性的で面白く、主人公が想いを寄せる小川さんも素敵です。芥川賞候補にもなった感動の物語です。

コミックの **おすすめ本**

「わたしは真悟 1～7」

樫図 かずお 著 // 小学館 // 726 ウ 1～7

電気類型 森田先生おすすめコミック。全 10 巻のうち 7 巻まで所蔵しています。真悟とは誰なのか、なぜ真悟が「わたし」なのか。その謎がわかるのは物語の中盤。産業用ロボットが孤独な旅に出るお話です。



【北豊島工科高校図書館からのお知らせ】

☆不明本を探しています。

夏休みに行った蔵書点検の結果、新たに行方不明となっている本が 3 冊ありました。貸出手続きにミスがあった可能性があるので、手元に下記の本がある人は図書館までお知らせください。

- ・小説「呪術廻戦」集英社
- ・小説「鬼滅の刃」1 と 2 集英社



☆右の QR コードより、ほとんどの都立高校の蔵書を検索することが可能となりました。課題研究などで使用したい本があれば、取り寄せることも可能です。図書館にご相談ください。

